

■ コメント

1. 咽頭結膜熱

定点当り1.00人とやや増加しており、例年同時期と比べて多くなっています。東区、南区ともに1.7人、安芸区1.5人、中区、安佐南区ともに1.3人となっています。

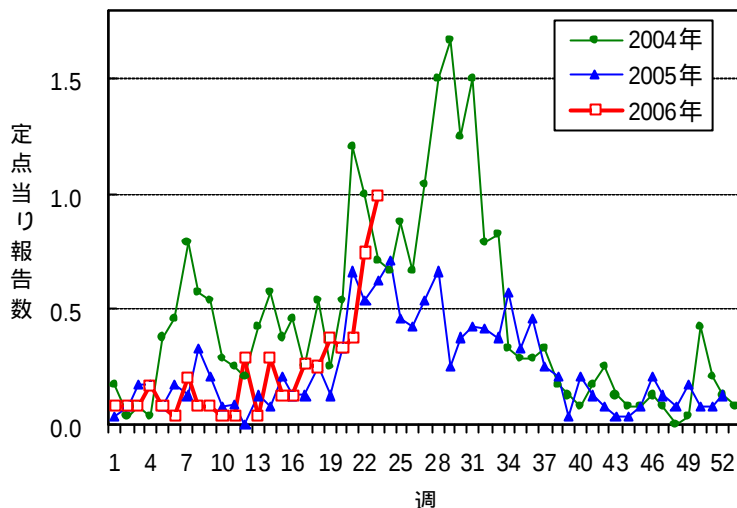
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り2.58人とやや減少していますが、例年同時期と比べて多い状態が続いています。佐伯区6.3人、南区5.0人、安芸区4.5人と特に多くなっています。

3. ヘルパンギーナ

定点当り1.46人と増加しており、流行期に入ったものと考えられます。安芸区では8.0人と特に多く、南区4.0人となっています。

咽頭結膜熱



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	8	0.22	0.05		麻疹(注3)	1	0.04	0.12	
咽頭結膜熱	24	1.00	0.36		流行性耳下腺炎	34	1.42	1.74	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.58	1.47		RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	125	5.21	4.89		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	79	3.29	2.34		流行性角結膜炎	4	0.50	0.95	
手足口病	8	0.33	3.08		細菌性髄膜炎	-	-	0.11	
伝染性紅斑	9	0.38	0.68		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.43	
突発性発疹	20	0.83	1.00		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.35	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	1	0.04	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	35	1.46	1.17						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第19週	21	9	37	159	78	-	7	14	-	-	19	1	-	10	-	-	4	-	-
		第20週	67	8	76	185	71	-	4	15	-	-	3	1	26	-	-	3	3	-	-
		第21週	65	9	63	156	70	2	7	17	1	-	16	-	20	-	-	1	2	-	-
		第22週	11	18	79	167	94	-	12	28	-	-	18	-	30	-	4	1	5	-	-
		第23週	8	24	62	125	79	8	9	20	1	1	35	1	34	-	1	4	5	-	-
定点当り	広島市	第19週	0.57	0.38	1.54	6.63	3.25	-	0.29	0.58	-	-	0.79	0.04	-	1.25	-	-	0.57	-	-
		第20週	1.81	0.33	3.17	7.71	2.96	-	0.17	0.63	-	-	0.13	0.04	1.08	-	-	0.43	0.43	-	-
		第21週	1.81	0.38	2.63	6.50	2.92	0.08	0.29	0.71	0.04	-	0.67	-	0.83	-	1.00	-	0.14	0.29	-
		第22週	0.30	0.75	3.29	6.96	3.92	-	0.50	1.17	-	-	0.75	-	1.25	-	0.50	-	0.14	0.71	-
		第23週	0.22	1.00	2.58	5.21	3.29	0.33	0.38	0.83	0.04	0.04	1.46	0.04	1.42	-	0.13	0.50	-	0.29	0.71
全国	第21週	1.00	1.07	2.61	5.43	2.81	0.51	0.62	0.70	0.01	0.01	0.96	0.01	1.42	0.02	1.08	0.01	0.02	0.45	0.01	-
	第22週	0.99	1.25	2.63	4.92	2.79	0.66	0.72	0.70	0.01	-	1.48	0.01	1.77	0.03	1.29	0.02	0.06	0.45	0.02	-

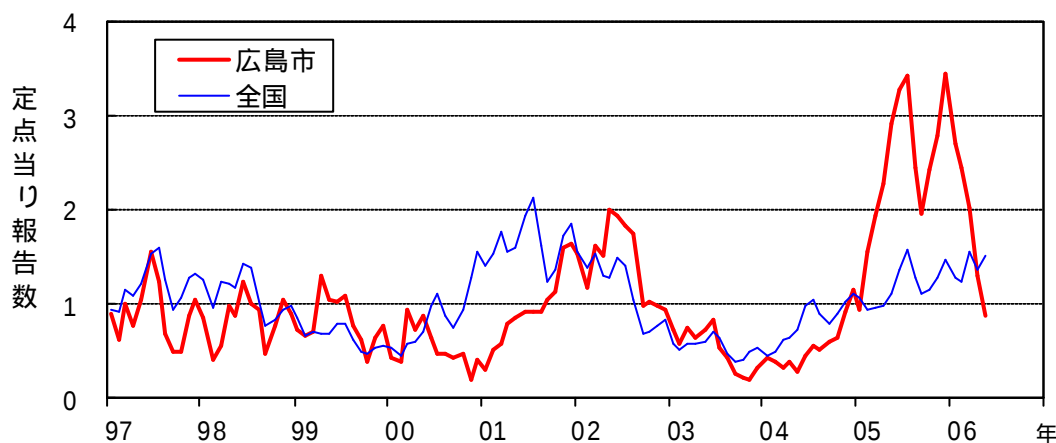
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	4	女	2006/04/26	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス18型
気管支炎	0	男	2006/04/28	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の月別定点当り報告数(1週当り平均)の推移

(1997年1月～2006年5月)



流行性耳下腺炎は、夏季と冬季にやや多くなるものの、季節変動は少なく、年間を通じて患者がみられますが、3～4年の周期で増減する傾向があります。

最近の広島市では、2004年から増加傾向で推移し、2005年は大きな流行となりました。

しかし、2006年に入ってから減少傾向で推移しており、5月はほぼ例年並みとなっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第23週(6月5日～6月11日)